



青山ラグビー現役通信



青山ラグビー祭

OBの皆様からはいつもご支援いただき、感謝申し上げます。様々な活動が制限される日々を経て、昨年は3年ぶりに青山ラグビー祭を開催することができました。(新商のグラウンド開きに招待され、合同で行いました。)たいへん多くの方々から参加をいただき、ありがとうございました。さて、今年は従前通り本校グラウンドでOBと現役の交流を行います。大勢の皆様からご参加いただき、旧交を温めるとともに、頑張っている現役の激励をお願い致します。

昨年度の花園予選

昨年の3年生はもともと選手2人とマネージャー2人しかおりましたが、全員が秋まで現役続行を選んでくれました。3学年合わせて12人の選手に加え、2年生の3人が短期的に加入してくれ、何とか15人を揃えて花園予選に臨みました。1回戦の相手は3年生が出場選手の大半を占める村上高校でした。

試合は雨上がりの濡れたグラウンドで始まりました。前半5分にキックパスからトライを奪われてしまいます。その後は新潟がBKの展開やラインアウトモールから相手ゴール前まで何度も迫りますが、トライまでは至りません。攻めきれない新潟は、28分に中盤ラインアウトから村上にトライを決められ0-12とされます。前半最後までラインアウトモールで相手ゴール前まで迫りますが、あと少しのところボールを失いハーフタイムとなります。

陽が差す中で迎えた後半、3年生の2人がチームを引っ張ります。主将のFL諸橋が好タックルを繰り返し、チームを鼓舞。副将のHO三浦が徹底的に密集サイドを突き、ゲインを繰り返します。しかし後半13分、キック処理のミスで与えたスクラムからサインプレーでトライを奪われてしまいます。その後、新潟が相手ゴール前で攻め続け、24分ようやくPR松田によるトライが生まれます。最後は時間との戦いとなり、新潟が攻めますが、7-17でノーサイド。悔しい初戦敗退となりました。3年生2人の選手と、最後まで毎日練習をサポートしてくれた中野・小田の両マネージャーの想いは、2年生たちに引き継がれました。



3年生が全員続けています

今年度の県総体は部員10人と助っ人5人で臨みました。1回戦の相手は北越高校。前半5分にスクラムから相手バックスにトライを許すも、その後は10分間相手ゴール前に居座り続けます。執拗にゴールラインに迫りますがなかなかトライを決めきれません。するとカウンターラックによるターンオーバーから一気にトライまで持って行かれ、そこから3連続トライを献上します。結果、前半だけで26点を取られてしまいました。一方、後半は食い下がります。SO松村の的確なキックで陣地を進め、スクラムからFB二ノ宮が連続トライ。助っ人の5人もディフェンスを頑張ってくれ、後半は14対17と善戦しました。北越高校はその後、新潟工業と開志国際を破り優勝しました。本校選手たちにとっては、目標が明確になる敗戦となりました。

現在、3年生の選手10人とマネージャー3人全員が花園予選まで続ける予定でいます。怪我のため県総体は出場できなかったCTB泉も花園予選には復帰します。1年生は選手4人とマネージャー4人が入部してくれました。

戦績

令和4年度	花園予選	令和5年度	地区大会 (Bブロック)
1回戦	新潟 7 - 17 村上	第1戦	新潟 34 - 19 新潟市連合
		第2戦	新潟 14 - 24 上中越連合
		第3戦	新潟 7 - 33 下越連合
令和4年度	NHK杯	令和5年度	県総体
1回戦	新潟 36 - 10 新潟市連合	1回戦	新潟 14 - 43 北越
準決勝	新潟 (棄権) 開志国際		
		令和5年度	アシックスカップ (7人制) 予選
		1回戦	新潟 5 - 40 北越
		コンソレ	新潟 38 - 17 合同A
		同決勝	新潟 14 - 12 新発田南

現役チーム体制

- 主将 笹川 蒼天 (3年・CTB)
- 副将 今村 葵生 (3年・SH)
- 監督 谷川永一郎
- 部長 押木 洋
- 顧問 小林 直人
- 部員数 選手：3年10人、2年1人、1年4人
マネージャー：3年3人、2年1人、1年4人



SH今村(3年)は攻守に活躍



トライゲッターのFB二ノ宮(3年)

今後の予定

9月22日(金)	花園予選 1回戦	11月4日(土)	NHK杯 1回戦
10月15日(日)	〃 2回戦	11月11日(土)	〃 準決勝
10月22日(日)	〃 準決勝	11月18日(土)	〃 決勝
10月28日(土)	〃 決勝		

*変更となる場合もありますので、日程と会場は新潟県協会HPでご確認ください。

OB情報

筑波大学ラグビー部の榎本幹也君(3年)が関東大学ラグビー春季交流大会の最終戦(日大戦)でウィングとして途中出場し、トライを決めました。昨年は怪我もあってAチームデビューはなりませんでした。今年期待できそうです。また、今年度から対抗戦Aグループに昇格した成蹊大学の鈴木辰巳君(4年)も、引き続きAチームで活躍中です。公式戦で対戦する可能性もあり今後が楽しみです。

(文責 谷川永一郎 104回卒)